韓国青少年訪日団（第 4 団）（招へいプログラム）の記録
（対象国：韓国，テーマ：地域の魅力を発見と同世代交流）

1. プログラム概要

韓国全土から選抜された中学生等 29 名が，テーマ「日本の魅力発見と同世代交流」の下，地方視察，伝統文化体験，学校訪問等を通じて対日理解を深めました。

本年が「日韓パートナーシップ宣言」20 周年であることを踏まえて，一行は都内で「日韓パートナーシップ宣言」に関する説明を受け，学校訪問，フィールドワーク，防災学習を行いました。

その後，埼玉県・群馬県を中心に，文化体験，産業視察・体験を行いました。一行は，プログラム中，訪問地域の伝統文化，伝統産業，地域活性化の取組み等に強い関心を示し，帰国前の成果報告の場では，これからの日韓関係について各人が発表しました。

【訪問地】

東京都，埼玉県，群馬県，千葉県

2. 日程

11 月 8 日（木）

入国（成田国際空港），オリエンテーション

11 月 9 日（金）

【学校訪問・交流】中央区立佃中学校，【視察】東京タワー

11 月 10 日（土）

【フィールドワーク】「伝えたい日本の魅力」：原宿，【防災学習】本所防災館，【視察】江戸東京博物館

11 月 11 日（日）

埼玉県へ移動，【文化体験】長瀞ライン下り，群馬県へ移動，【文化体験】つるし飾り作り体験

11 月 12 日（月）

【視察】水澤観世音，【産業視察・体験】こんにゃくパーク，こんにゃくゼリー作り，埼玉県へ移動

11 月 13 日（火）

【文化体験・視察】着物着付け，まつり会館，【視察】高麗神社，【講義】「高麗神社及び高麗郡建郡 1300 周年・日韓パートナーシップ宣言」について，千葉県へ移動，成果報告会

11 月 14 日（水）
出国（成田国際空港）

3. プログラム記録写真 （訪問地：東京都，埼玉県，群馬県）

11 月 9 日【学校訪問・交流】中央区立佃中学校(東京都中央区)	11 月 10 日【防災学習】本所防災館（東京都墨田区）
11 月 11 日【文化体験】つるし飾り作り(群馬県北群馬郡榛東村)	11 月 12 日【産業視察】こんにゃくパーク（群馬県甘楽郡甘楽町）
11 月 13 日【視察】高麗神社（埼玉県日高市）	11 月 13 日【講義】「高麗神社及び高麗郡建郡 1300 周年・日韓パートナーシップ宣言」について（埼玉県日高市）

4. 参加者の感想（抜粋）

◆　韓国　中学生

・日本というと歴史問題について敏感な部分が多いため，そういった問題に接するたびに韓国人として良く思っていなかった。しかし今回日本を訪問してみて，日本の肯定的な面や文化，人々の親切心や配慮する心を学び，「日本」という国へのイメージが変わった。

・日本の魅力にはまった。ホテルから見える夜景やバスで移動する時に見えた夜景がとても美しく，お店の人たちもとても親切で，日本食もとても不思議で楽しみながら食べることができた。また，こんにゃくパークにおいて製造工程を見学したことや，高麗神社の見学がとても面白かった。このプログラムを通し，日本を好きになった。

・訪日前にメディアを通して持っていた日本のイメージは，清潔で礼儀を重要視する国だったが，訪日後，自分の肌で直接それらを感じ体験することができた。思っていた通り日本は清潔で，人々との交流はとても幸せな時間だった。

・日本は市民意識が高く，自国に対する自負心があり，経済・社会・教育的に優秀な国だと思っていたが，実際に文化交流を通じてそれらを肌で感じる事ができた。

5. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

帰国前夜，一行は成果報告会を行い，今回行われた交流事業が 1998 年の小渕総理と韓国の金大中大統領との間で合意・発表された「日韓パートナーシップ宣言」をきっかけに始まり，今年で 20 周年を迎えることから，これから 20 年後の日韓関係について発表した。発表内容の一部を紹介すると，下記の通りである。

・これまで 20 年間続いてきたこのプログラムが，これから 20 年後も途切れる事なく続いて行ってほしいと思う。これからは，現在両国が抱えている葛藤を解決し，お互いに競争しながら成長していける関係になり，私たちの子孫がより一層楽しく交流できるようになっていてほしい。

・政治的な関係が良くないだけで，国民の間では理解し，お互いの国について知りたいと思っているため，政治的な問題が解決されれば，すぐにでも仲良くなれると思う。

・20 年後はお互いに良い印象を持ち，より近い関係でいられると思う。

（了）